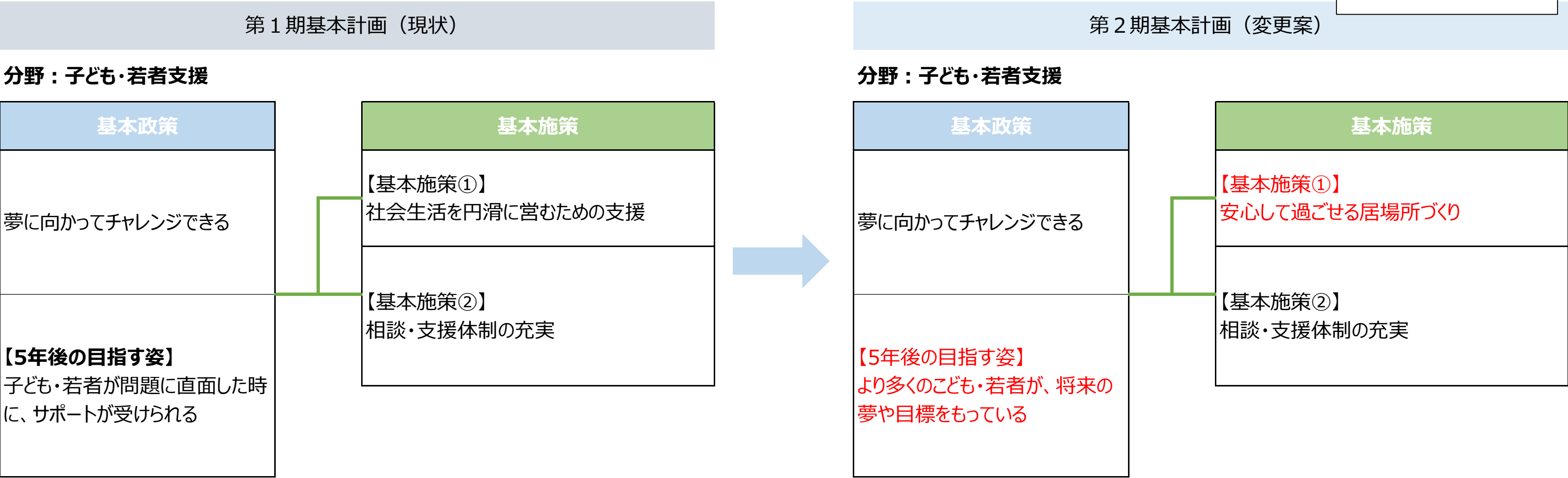
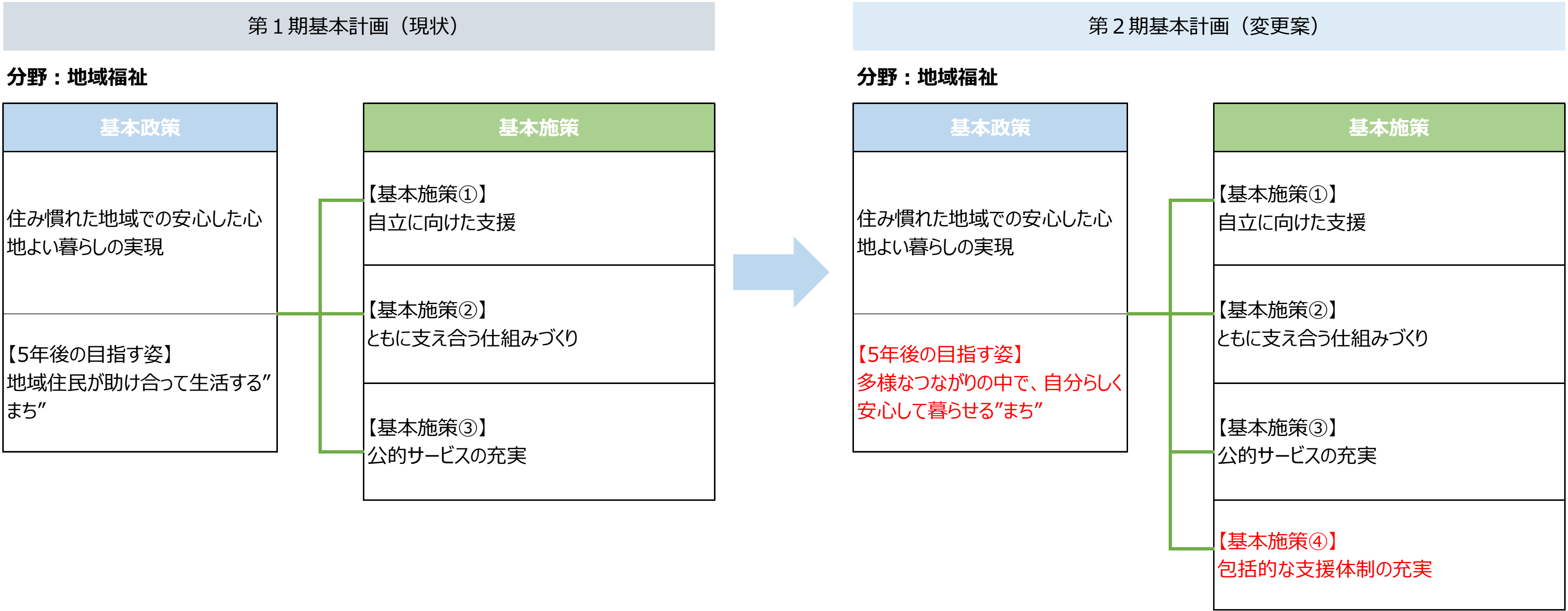




◆ロジックの設定の考え方

項目	ロジックの説明	ロジックの変更理由 (変更する場合のみ記入)
5年後の目指す姿	地域の理解や協力、関係機関との連携を図りながら、将来に夢や目標を持って前向きな姿勢で成長を続けることができる子どもや若者を増やす。	基本政策を実現するための姿として、より客観的にイメージしやすい表現に修正した。
基本施策①	子どもや子育て家庭をめぐる問題は多様化、複雑化し、地域のつながりも希薄になる中で、孤立することなく、自分の存在を他者から認められ、自己肯定感を高めていく場として、地域で子どもや若者が安心して過ごせる居場所づくりを支援する。	令和4年版「子供・若者白書」（厚生労働省）によると、居場所の数が多いほど自己肯定感や、チャレンジ精神、将来への希望が増すという結果が得られていることから、5年後の目指す姿を達成するためにより具体的な表現とした。
基本施策②	困難な状況にある子どもや若者がチャレンジできるよう、関係機関と連携し、子どもや若者、その家庭に対して切れ目のない支援を行う。	

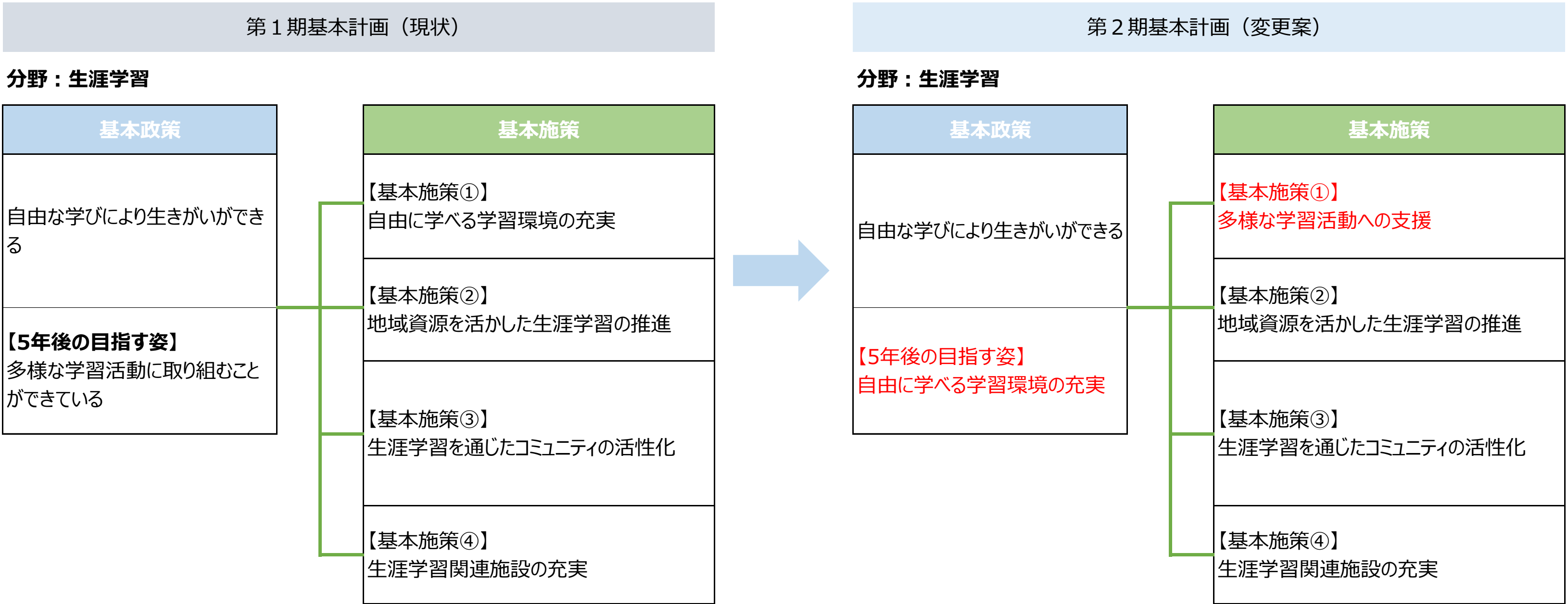
第 2 期基本計画骨子案



◆ロジックの設定の考え方

項目	ロジックの説明	ロジックの変更理由 (変更する場合のみ記入)
5年後の目指す姿	市民一人ひとりや福祉関係機関等の様々な人や団体が地域でのつながりを深め、お互いに支え合いながら安心・安全に生活できる住みよい“まち”を目指します。	第 1 期基本計画の表現では、住民の互助・共助に頼るニュアンスが強く感じられ、公的サービスの果たす役割が読み取りづらい側面があるため、3 つの基本施策をバランスよく包含する表現に変更しました。
基本施策①	市民一人ひとりが、安心した生活を送ることができるよう支援し、自立できることを目指します。	
基本施策②	市民一人ひとりや福祉関係機関等が協力・連携してともに支え合う仕組みづくりを進めます。	
基本施策③	自らの力や地域での支え合いだけでは解決できない生活課題に対し、その課題に合った適切なサービスを提供できるよう、生活課題の把握や支援策の検討をはじめ、関係部署との連携強化などを行うことで、公的サービスを充実します。	
基本施策④	市民の複雑化・複合化した支援ニーズや制度の狭間に対応するため、重層的支援体制整備事業を推進することで、包括的な支援体制を充実します。	

第2期基本計画骨子案



◆ロジックの設定の考え方

項目	ロジックの説明	ロジックの変更理由 (変更する場合のみ記入)
5年後の目指す姿	市民一人ひとりの様々な学びの意欲に応じるにより、いつでも、どこでも、誰でも学べる学習環境の充実を目指します。	第1期基本計画の「5年後の目指す姿」と「基本施策①」との内容を鑑み、中身を入れ替えて文言を修正。
基本施策①	ライフステージに応じた学習機会の提供や、学習情報の発信、相談体制の整備などにより、多様な学習活動に取り組めるよう支援します。	第1期基本計画の「5年後の目指す姿」と「基本施策①」との内容を鑑み、中身を入れ替えて文言を修正。
基本施策②	自然環境、産業、歴史、郷土芸能などの地域資源や、知識や経験を持つ多彩な市民を活かした生涯学習を推進します。	
基本施策③	生涯学習における学習成果の発表や学び合い、市民同士の交流の機会などを通じて人と人とのつながりを増やします。	つながりを深めるためにコミュニティの充実を図るものではなく、コミュニティの充実や活性化のためにつながりを深めるべきと考えるため文書を整理した。
基本施策④	多様化する学習形態への対応と、誰もが安全で使いやすい、生涯学習関連施設の充実を図ります。	